

院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコル

独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院

薬剤部

1. 各種問い合わせ窓口

(1) 処方内容

TEL : 022-378-9111 (代表) 各診療科・薬剤部

(2) 保険関係(保険者番号、公費負担など)

TEL : 022-378-9111 (代表) 医事課外来

(3) 当プロトコルについて

TEL : 022-378-9111 (代表) 薬剤部担当者

2. 当プロトコルに基づいて変更された処方についての連絡方法

当プロトコルに基づいて処方内容を変更して調剤した場合は、原則同日中に下記の
FAX 番号に変更内容が分かる資料を送信して下さい。

FAX : 022-378-8630

3. 運用開始日

令和 2 年 1 月 7 日

令和 2 年 9 月 1 日

令和 3 年 5 月 18 日

令和 4 年 6 月 15 日 改訂

4. 疑義照会不要例(ただし、麻薬、抗悪性腫瘍薬、注射薬、吸入薬に関するものは除く)

- ① 薬歴上、継続処方されている処方薬に残薬があるため、処方日数を調整(短縮のみ)して調剤すること(外用薬の数量変更も含む)

例：レバミピド錠 100mg 30 日分→20 日分（10 日分残薬があるため）
ヒアルロン酸点眼液 0.1% 3 本→2 本（1 本残があるため）

※前回処方から継続されている薬剤に限る

※日数の延長（外用薬の増量含む）が必要な場合には疑義照会が必要

- ② 患者や患者家族から一包化の申し出があり、アドヒアランスの向上が見込まれると判断された場合の一包化調剤

※処方箋上に「一包化不可」のコメントがある場合を除く

※患者負担額が発生する場合、必ず同意を得て調剤して下さい

- ③ 患者や患者家族から一包化不要との申し出があり、アドヒアランスに問題ないと判断された場合の一包化指示の削除

- ④ ビスホスホネート製剤における明らかな日数間違い

※連日内服製剤を週 1 回内服などのように減量して内服することがあるため、あくまで日数を減らす場合に限る。日数を増やす場合には疑義照会が必要。下記の例を参照。

<疑義照会必要(事後報告不可)>

例：ベネット錠 2.5mg 1 錠 1 日 1 回 起床時 月曜日のみ内服 1 日分
→ベネット錠 2.5mg 1 錠 1 日 1 回 起床時 連日内服 7 日分

<疑義照会不要(事後報告可)> ※他剤が 35 日分処方だった場合

例：ベネット錠 17.5mg 1 錠 1 日 1 回 起床時 週に 1 回内服 35 日分
→ベネット錠 17.5mg 1 錠 1 日 1 回 起床時 週に 1 回内服 5 日分

- ⑤ 「隔日服用」と指示された処方薬が連日投与の他の処方薬と同一の日数で処方されている場合の処方日数の適正化(処方間違いが明確な場合のみ)

例：(他の処方薬が 30 日分だった場合)

バクタ錠 1錠 30 日分 隔日服用 → バクタ錠 1錠 15 日分 隔日服用

- ⑥ 服用歴のある配合剤が入院などにより単剤の組み合わせ(同一成分及び含量)に変更されたと判断でき、患者が希望した時に元の配合剤へ変更すること

例：(薬歴などでミカムロAPの服用歴を確認できる場合)

テルミサルタン錠 40mg 1錠

アムロジピン錠 5mg 1錠

→ミカムロ配合錠 AP 1錠

- ⑦ 湿布剤における用法が添付文書上と相違があった場合の変更

例：モーラステープ L 1日2回 → 1日1回

モーラスパップ 1日1回 → 1日2回

※ただし、医師から個別で指示を受けていると患者から申し出があった場合には疑義照会が必要

- ⑧ 外用剤における使用部位が無記載だが、薬歴や患者面談により使用部位が明確な場合の使用部位コメントの追記

例：モーラステープ L 1日1回 → 1日1回 腰

- ⑨ 外用薬の包装規格変更(合計処方量が変わらない場合)

例：アンテベート軟膏(5g)2本 → アンテベート軟膏(10g)1本

⑩ 成分名が同一の銘柄変更（後発品変更不可の場合を除く）

例：フォサマック錠 35m g → ボナロン錠 35m g

※先発医薬品同士、後発医薬品から先発医薬品も可

※薬剤料に違いがある場合、患者に十分な説明をし、同意を得てから変更してください。

⑪ 剤型変更（安定性、利便性向上のための変更に限る）

例：アムロジン錠 5m g → アムロジン OD 錠 5m g

⑫ 処方規格変更（規格が複数ある医薬品の場合）

例：5m g 錠 1 回 2 錠 → 10m g 錠 1 回 1 錠

10m g 錠 1 回 0.5 錠 → 5m g 錠 1 回 1 錠

※規格によって、効能・効果が違う場合には疑義照会が必要